

争で入札すると公告した。入札に参加する意志のある企業は、2社による共同企業体を自主結成し、所定の手続きを行つよう求めている。申請書の提出期限は9月2日、開札日は9月29日とな

備工事。建設規模はRC造4階建てで延べ約2300平方㍍。工期は1年8月10日まで。
参加資格は代表者が電気A、その他の構成員は電気A、B。予定価格は後日公表される。

ド織袋工、排水工（自生土）、勾配側溝300×300
—900）、体育施設工（グラウンドマーク、竹
棒）、防球ネット新設工、バッケネット新設工、
帶構造物工、構造物撤去工、樹木撤去工など。整

射水市
射水市は9月7日、太閤山9丁目地内「岡山公園測量設計業務委託」を開札する。

解体し、集会場跡地に併
所を新築する。

日本下水道事業団（東日本本部は2月1日、平成22年度富山県）

匠記言文鳥上量バ江乃刀
理棟、汚泥輸送・前処理
設備、負荷設備。履行期限は
11年2月28日で。

金井道軌機工隊新幹線第一建設局は、「北陸新幹線、分歧器修正設計他」を簡易公募型競争入札で公示した。参加申請書の提出期間ま



約70人が参加した富山市管工事協組青年部主催による異業種交流研修会 =27日、富山国際会議場

市森友明氏（新日本コン代表）が熱弁

講師は新日本コンサルタント代表取締役の市森友明氏が務め、演題は「防災と減災」。氏は阪神大震災時の経験談をまじえ、また一層高まる公共事業の importance もふまえて熱弁をふるつた。

氏は国が「減災」をいう背景には「予算削減がある」と一刀両断。また「歐米では防災は哲学であってコストの問題ではないが、日本は安全と水はタダだから」という意識の希薄さも併せて指摘。貫して公共事業費が削減され続ける現状を

△下水道総合地震対策事業
△対策▽土砂災害ハザードマップ（ソフト事業）▽

△地盤規模お耐震性能などを視点に取り上げ、次々説き明かした。

なお研修後、ANAクラウンプラザホテル富山で懇親会を開き、「単なる人との交流ではなく、共通のテーマを持ち相互に信頼関係を築きたい」と今後も継続開催できることを期待して棚田長らがあいさつし、乾杯して歓談の輪を広げた。

富山市管工事協同組合は27日、防災共通テーマに設定し電気工事や構造物解体、塗装、宅建主催の異業種交流研修会

ら各団体の青年部員約
0人が参加して熱心に学
んだ。富山市の富山国際
会議場で。

下型地震の発生確率▽総合的なマネジメントとしての減災▽ハード・ソフト一体となって対策▽止

射水市は、次の土木工事3件を条件付き一般競争入札の形で実施する。公募する。公告は9月7日とある。

更新（その2）工事概要／φ20ミリ6件、配水管74・75など　工期11年1月13日　管A、Bクニス　予定価格1350万6000円

そよかぜ
木、飯健治社長は「3日、「(仮称) 小矢部グープホーム新築工事」開札する。

グループホーム
設計は高橋一級建築設
計事務所（石川県加賀市西
島町）が担当。

平成22年8月30日付 建設工業新聞掲載

積地区 認可拡大へ

滑川市

澤川市は、11年度点事業として公共下水道事業の促進を、国および県に要望している。

著しく遅れている状況
このため、新たに浜加積
地区・早月加積地区の
業認可拡大を図り、幹
・枝線管渠の一層の整
を促進する。浄化セント
ーの水処理施設等増設

についても、11年度に向け整備推進。完成すれば処理能力が3-15立方㍍／日アップするこのため、引き続き下水道事業の促進を求
めている。

△地すべり対策魚津地区
め共。す成川緑地区用水路工事
入札 3／四半期 一般土木工事
5ヶ月 一般土木工事
用水路工220m 約4工日
工事 魚津市升方外